

みのべ 弥生 ニュース

MINOBE
YAYOI
NEWS
vol.34



住所 八王子市別所2-49-2-604
TEL 042-675-0119
メール yayoi@minobe8.com

☆ごあいさつ☆
新型コロナウイルスは世界中に感染が拡大し、私たちの生活は一変しました。私自身のコロナとの戦いは、ダイヤモンドプリンセス号からのSOSを国会議員につないだところから始まり、3月から6月までの市民相談は1,500件を超えるました。皆様から頂いたご意見・ご要望を国会議員、東村ぐにひろ都議

会議員へと即座に繋ぐと共に、市議会公明党として、6回57項目にわたり市長に要望書を提出し、その多くを実現することができました。まだまだコロナとの戦いは続きますが、市議会議員として全力を尽くして参ります！



令和2年市議会 第2回定例会 ☆ 一般質問

◆子育て支援

【問】「とうきょうママパパ応援事業」は、家事育児サポートに1時間2,700円の補助が付き、更に、多胎児支援は年間利用時間が手厚くなっています。これを活用し、八王子市の多胎児支援、産後ケア事業を充実させるべきと考えますが、ご見解を伺います。

【答】活用してまいります。

【問】お母さんや赤ちゃんのケアはもちろん、買い出し、掃除、食事作り、赤ちゃんの父親や上の子のケア等きめ細かなサポートが出来る『産後ドゥーラ』を補助対象に加えるべきと考えますが、ご見解を伺います。

【答】来年度以降の実施に向けて、委託先の確保を図ったうえで、さらに産後ドゥーラを始めとする子育ての専門家を活用するしくみを考えています。

◆複合災害対策

【問】新たな浸水予想区域図が公表され、浸水予想区域が拡大しました。区域内に住む市民への周知と、コロナウイルス感染症対策の観点からの避難行動に対するご見解を伺います。

【答】避難所や親戚・知人宅に立ち退き避難すること、または、自宅内で安全が確保できる場合は、自宅と考えています。正しい避難行動を周知していくことが重要であると考えております。今後は、9月に改訂し全戸配布予定の総合防災ガイドブックや出前講座、地域の防災訓練の出向時など様々な機会を捉えて市民への周知や意識改革を行ってまいります。



みのべ弥生の一般質問、各委員会、分科会、予算決算等審査特別委員会での発言が、画像（一般質問のみ）と原稿でご覧いただけます。



皆様のお声がカタチに！



『長池公園の芝生広場付近にトイレの設置を求める要望書』を3,951筆の署名と共に提出



受動喫煙対策。
南大沢駅の喫煙スポットに高い壁の設置
四季の丘南緑地付近の道路補修

市議会公明党ニュース

複合災害に備え市内避難所を調査

東村ぐにひろ都議、
市議とともに



昨年10月、日本各地で猛威を振るった台風第19号——市内に36か所の避難所が開設され、3,732世帯・8,457名の市民が避難所に避難しました。

新型コロナウイルス感染が予断を許さない中、今年も台風シーズンが近づいてきたことから、公明党八王子総支部として東村ぐにひろ都議と市議会議員が連携して6月30日、7月2日の2日間にわたって市内の避難所を調査しました。

東村都議が調査に当たった避難所は、台風第19号で被害が大きかった地域のうち、浅川小学校【写真】、元木

小学校、中野北小学校の3カ所。体育館や教室など各施設の確認と、防災倉庫の状況を把握しました。

立ち会った学校関係者および地域の方からは、前回同様の避難者数に対応するのはスペース的に困難、避難所運営の在り方を見直す必要がある、などの意見が寄せられました。

今回の現場調査で様々な問題が浮き彫りになり、今後の防災・減災を進める上で大変貴重な機会となりました。東村都議は、コロナ対策を講じた避難所運営に関し、都議会公明党としても検討する決意を述べていました。



給食センター2施設が稼働開始 中学校の完全給食に向けて

八王子市の給食センター2施設がこのほど完成し、6月15日、市内11の中学校向けに配食を開始しました。市内5カ所に建設する給食センターのうち、最初の2施設の稼働開始となります。今後、給食センター3施設が順次開設されることになっています。

先行してオープンしたのは、南大沢【写真】と元八王子の2施設で、調理能力は各2,500食。給食センターは「はちっこキッチン」と愛称が決まりました。南大沢からは由木中・宮上中・松が谷中・別所中・松木中の5校、元八王子からは長房中・元八王子中・四谷中・城山中・恩方中・加住小中学校の6校に保温食缶で給食が届けられ、生徒から好評を博しています。

中学校給食の導入は、市議会公明党が半世紀に渡って訴えてきた重要なテーマでした。3年ほど前、公明党提案のセンター方式で完全給食を実施する方針が決定、事態は大きく進み始めました。最終的に1万5,000食の調理体制を構築すべく、センター5施設を整備します。災害時は避難者に食事を提供することとしており、地域の安心拠点としての機能も發揮します。

コロナ緊急要望が市補正予算に反映

市議会公明党は、石森市長に対し、計4回、43項目にわたる、コロナ対策緊急要望書を提出しました。4月補正、5月補正に加え、6月18日開催の市議会本会議で成立した補正予算にも、公明党の要望が数多く反映されています。補正予算などに反映された主な項目を紹介します。

- 学生支援特別給付金(一人10万円。定員800人)
- 臨時学生等雇用促進奨励金(1ヶ月額5万円上限)
- 生活困窮者への緊急食品支援(支援活動に要する食品購入費)
- 子ども食堂活動支援(食品購入費、送料等)
- ひとり親家庭総合支援金(テレワークのスキルを習得等)
- 中小企業者パワーアップ補助金(新製品開発や販売促進に係る経費など)
- 事業継続緊急支援金(期間により最大100万円)
- テナント家賃緊急支援金(5万円×3カ月)
- 防災倉庫整備(室内テント、フェイスシールド、非接触検温計など)
- 自主防災向け衛生用品購入(感染症防護対策セット、手袋など)
- GIGAスクール環境整備(小中学生に一人1台端末整備)
- PCR外来の開設(市内医療機関からの紹介で受診)